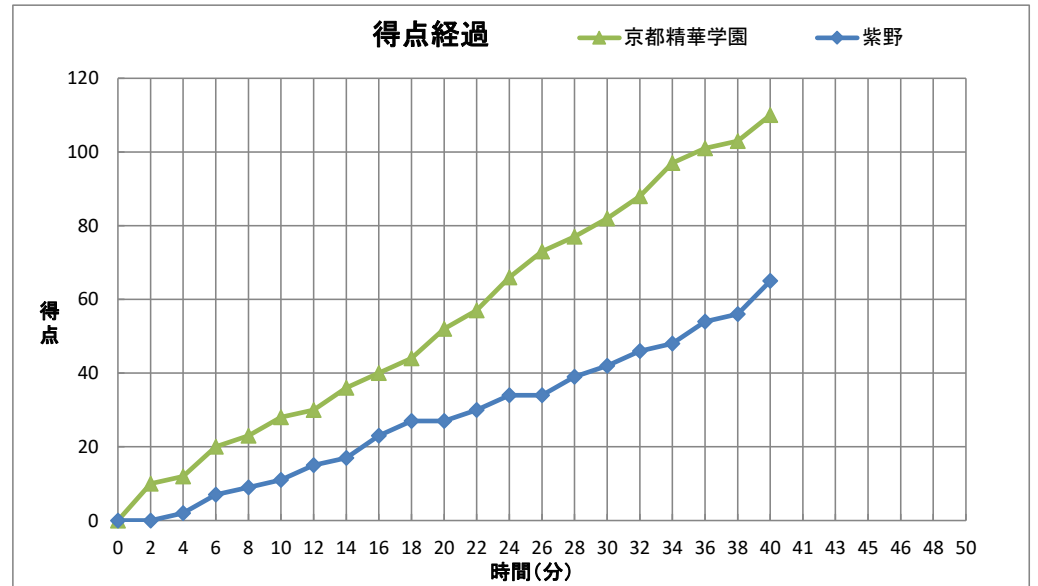




令和元年度全国高等学校総合体育大会京都府予選 兼
第66回近畿高等学校バスケットボール選手権大会 京都府予選

個人トータル表

女子		6月1日		14:00 開始															
決勝		ハンナリーズアリーナ		M															
◎ 京都精華学園 110		<table border="1"> <tr><td>28</td><td>1st</td><td>11</td></tr> <tr><td>24</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>30</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>28</td><td>4th</td><td>23</td></tr> </table>		28	1st	11	24	2nd	16	30	3rd	15	28	4th	23	65		紫野	
28	1st	11																	
24	2nd	16																	
30	3rd	15																	
28	4th	23																	
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則						
* 4	高橋 未来	17	1	6	2	1	* 4	東 史野	12	0	5	2	3						
* 5	松尾 祥花	14	3	2	1	2	* 5	定久 真奈	8	0	4	0	2						
* 6	関 瑞葵	11	1	1	6	1	* 6	吉村 朋子	19	0	9	1	4						
7	白石 あゆみ	8	0	2	4	2	* 7	原 菜紘	15	5	0	0	2						
8	下間 ほのか	0	0	0	0	1	8	越前 采奈	1	0	0	1	1						
9	川原 和	3	1	0	0	0	9	松浦 萌乃	0	0	0	0	1						
10	瀬川 心暖	2	0	1	0	2	10	青木 遥	0	0	0	0	0						
11	祢宜 くるみ	2	0	1	0	2	11	田中 和	-	-	-	-	-						
12	植村 文音	0	0	0	0	0	* 12	中原 百望	7	1	1	2	1						
13	呉本 明津実	0	0	0	0	0	13	土谷 朋葉	0	0	0	0	2						
14	山下 このは	4	0	2	0	0	14	安田 美都	-	-	-	-	-						
* 15	T. セトウ	13	0	6	1	1	15	森元 歩音	-	-	-	-	-						
* 16	荻田 美	30	4	9	0	0	16	櫻井 琳	-	-	-	-	-						
17	柴田 柚菜	4	0	2	0	0	17	高取 美来	2	0	1	0	0						
18	A. ラリヤ	2	0	1	0	0	18	木谷 汐音	1	0	0	1	0						
コーチ	山本 綱義					0	コーチ	吉田 聡					0						
Aコーチ	町田 瀬名						Aコーチ	野村 安寿里											
合計		110	10	33	14	12	合計		65	6	20	7	16						
主審: 岩木 太郎 副審: 小出 聡子 副審: 山田 依美里																			



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:
TeamB	5:43	:	24:44	32:58	:	:

〔戦評〕

1Q、流れを掴んだ精華は#4のジャンプシュート、#5・16の3P、#15のゴール下とインサイドとアウトサイドがバランスよく得点していく。一方、紫野はなかなか攻め手が見つからず、フィールドゴールが得られず、精華#5に再び3Pを決められ16点差でタイムアウト。タイムアウト明けからディフェンスをスイッチングマンツに、オフェンスもドライブからアウトサイドに修正し#7・5の3Pで得点する。それでも精華は落ち着いて攻め#7のゴール下、#5・16の3Pと主導権を譲らず、28-11と精華リードで1Q終了。

2Q、長身選手のいない精華の隙をつき、#6がジャンプシュート・ポストプレー#5のミドルシュートと流れをつくっていく。対する精華は、#16が3Pを含む3連続得点と個人技でイーブンに持っていく。紫野は#7の3P、#6のドライブインと強気の攻めをみせ食らいついていくが、残り2分から精華の#4・15・17が次々に速攻を沈め10-0のランをみせ52-27と精華がリードを広げる。

後半、紫野は#7が3Pを決め先制するが後が続かず、精華は#15・16のジャンプシュート、#5の3P、#5のゴール下と攻撃の手を休めず得点を次々に重ね、残り4分までに21-10とリードを広げメンバーを交代させる。紫野は再び#7の3P、#4のジャンプシュートで気を吐くが、精華の#11・14・9が要所で走り得点し、82-40の精華リードで3Q終了。

4Q、劣勢の紫野は#4がスクープシュート、ジャンプシュートと活躍し、チームを引っ張るが、コートに戻った精華#4を止めることができず、精華はそこを起点に#18のゴール下、#6がジャンプシュートを決めていく。紫野は#6が劣勢を感じさせないプレーで速攻、ジャンプシュート、ドライブを見せ得点・アシストと活躍するが、110-65で京都精華学園が勝利。

戦評: 同志社国際 木村 励 記録: 南陽高校